

先回、お話ししましたように今年度の新しい挑戦について紹介します。

1) 脳リハビリセンター増員

平成 22 年 4 月に、脳リハビリセンターの定員を増員する予定です。お待ちいただいている患者さんにも対応できると思います。また、重症度により二つのグループに分けて対応が可能となります。

私の講演活動も、主に岐阜県と愛知県で行ってきました。要望があればさらにエリアを広げる予定です。「認知症の基礎的理解」、「認知症の早期発見の重要性」、「認知症の 10%が治療可能」、「成年後見人の理解」等、皆さんにお伝えする事がたくさんあります。結果として、多くの方々が幸せな最後を迎えることでできればと考えています。

2) 平成 22 年 4 月 療養型通所介護(=ナーシングデイ) オープン

多くの方々は、自分の最後を自宅で迎えたいと願っています。しかし、介護者等の問題で実現できる人は約 10%程度とされています。入院しか選択肢がなかった人達を、在宅で看るための介護サービスの一つが療養型通所介護です。死期が迫ってきた利用者さんを 24 時間、在宅で見るとは介護者にとって肉体的にも精神的にも負担が重いものです。しかしそのような重症度の高い利用者さんを看る通所サービスは全国でも 10 件程度しかありません。

平成 22 年 4 月に当グループの訪問看護ステーションが中心となってナーシングデイを開始します。自宅にお伺いする看護師と通所サービスでお世話をする看護師が同一である点は、利用者様とご家族に多大な安心を与える事ができます。いずれは、利用者様のお預りサービスまで広げる必要性も検討しています。

3) 平成 22 年 10 月 多治見市新規デイサービス オープン予定

当グループでは、現在通所サービスを 6 箇所運営しています。先回ご紹介したナーシングデイが 7 箇所目になります。さらに平成 22 年 10 月に多治見市にて 8 箇所目のデイサービスを予定しています。新しいデイサービスでは、パワリハビリと脳リハビリを同時に提供できるシステムを構築します。パワリハビリが、身体の運動機能の改善だけでなく、認知症にも効果があることは実証済みです。そのため、パワリハビリを行う施設も見受けられます。そこで、さらに、当グループのもう一つの柱である脳リハビリも同時に提供する事は、とても意味があると思われれます。

現在、認知症専門外来には、土岐市だけでなく多治見市からも多くの患者さんが来院されています。多治見市の患者さんにも土岐市の方と同様に、パワリハビリと脳リハビリのサービス提供ができればと考えていました。8 箇所目のデイサービスで何とか実現できそうです。

最後にお願いです。各部門、他の部門は関係ないとは思わないで下さい。例えば、訪問看護や居宅介護支援は安定した売り上げを維持してくれ、グループの源です。しかし、そのサービスの性格上、永遠に売上を伸ばし続けられるものではありません。毎年、固定費は上がりつづけ利益は減少します。そこをカバーするのがデイサービス等による事業拡大です。各部門、それぞれの特性を活かし、互いに支えあいながら、グループが発展する事をご理解頂ければ幸いです。

1) 私が講演でお伝えする事を 4 つ記載ください

() ()

() ()

2) ナーシングデイが利用者様とご家族に多大な安心を与える要因を一つあげてください

()

3) 新しいデイサービスでは、どのようなシステムを構築しますか？

()